

令和6年度大原市民センター運営協議会（2回目）

日時 令和7年3月21日（金）午前10時00分～

場所 大原市民センター 1階中会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議長選出

4 議 題

（1）令和6年度大原市民センター事業実施報告について

（2）令和7年度大原市民センター運営方針及び事業計画（案）について

（3）その他

5 そ の 他

6 閉 会

令和6年度

大原市民センター運営協議会委員

No.	所属団体	役職	氏名	備考
1			熊谷幸次	議長
2			金野恒男	
3			金野信代	
4			千葉邦弘	
5			伊東研二	

大原市民センター職員

No.	職名	氏名	備考
1	所長	熊谷 淳	R5. 4. 1
2	主査	菅原安彦	R4. 4. 1

令和6年度大原市民センター事業実施報告

教育行政の目標

「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」

社会教育行政の目標

「ともに学び、まちとひとをつくる社会教育を推進」

市民センターの目標

「心豊かな人生と文化の香りする住みよい地域づくり」

1. 基本方針

一関市教育振興基本計画後期事業計画（令和3年度～令和7年度）及び令和6年度一関市教育委員会教育行政方針を踏まえ、大原市民センターが一人ひとりの多様で個性のある自己実現を支援するため、生涯の各時期において主体的に学習できるよう、より質の高い学習機会を創出するとともに、地域課題の解決と地域の教育力向上を目指し、学校、家庭、地域が連携した学びと地域づくりの推進により、地域の活力を創造していく。

2. 社会教育現代的課題共通テーマ

男女共同参画「誰もが 個性を尊重し 能力を認め合う 多様性への理解の促進」

3. 事業実績

(1) 生涯学習の推進 【SDGs目標：4, 17】

●推進体制の充実



事業名	ねらい	対象	時期	内容
市民センター運営協議会	市民センターの運営、事業推進にあたり、適切かつ効果的に意見を反映させる。	運営協議会委員5名	年2回 9月25日 3月21日	・市民センターの運営及び事業等について協議
学級及び講座開催調整会議	歴史専門講座及び各種事業等の内容検討と調整を図る。	学識経験者等	2月20日 2月25日	・情報交換と事業調整 ・学芸員との意見交換
大原自治公民館等連合会研修会	自治会等の運営や活動の情報交換と地域づくりを研修する。	自治会長	11月8日	・移動研修（横手市） ・参加者21名
大原地区新年交賀会	年頭に集い、抱負や地域振興について情報交換と交流親睦を通じて一体感の醸成を図る。	大原地区	1月5日	・地域協働体と自公連の共催実施 ・参加者136名

● 学習の普及奨励

○ 学習情報の提供

事業名	ねらい	対象	時期	内容
市民センターだより 砂鉄川の発行	市民センター事業の周知と情報提供等により地域の活性化を図る。	全戸	毎月	・講座、行事等の情報提供及び成果の報告や各種団体の情報提供等 ・地域情報（大東高校等）の掲載
学級講座・事業の周知等	各種行事等を周知することで日程調整等を円滑にし、生涯学習活動の普及奨励を行う。	全戸	随時	・市民センターだよりの活用等

(2) 社会教育の推進 [SDGs目標：4, 11]

● 推進体制の充実

○ 組織の連携強化



事業名	ねらい	対象	時期	内容
市民センター所長会議	各市民センター所長による連絡会議を開催し、市民センターの運営及び事業計画について協議、検討する。	市民センター関係職員等	市主催 2回 地域内 毎月	・事業運営全般についての意見交換 ・地域内6市民センター所長による情報交換
市民センター担当職員会議	大東地域内の市民センター職員による連絡調整会議を開催する。市民センター事業等について協議検討する。	各市民センター関係職員等	全5回	支所地域振興課の担当、市民センターの担当職員によるセンター事業等の連絡調整

● 社会教育の充実

○ 地域の特性を生かした社会教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
教育振興運動	関係機関団体と連携し、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	地区	随時	・世代間交流事業共催 ・家庭教育学級等 ・大原小学校運営支援協議会（年3回） ・大東地域教育振興運動推進委員会事業への参加 ・大東地域生徒指導連絡協議会事業への参加
室蓬カレッジ	大東地域内の各市民センターが共通認識を持ち、その地域の特性を活かした事業を展開する。	一般成人	6～10月 各5回	・歴史専門講座（大原） ・郷土史講座（猿沢） ・現代文学講座（渋民）

協働のまちづくり	大原地区の特色を生かしたまちづくりの推進を図る。 ・地域協働体が主体となり、多くの地区民が参加する事業の支援 ・関係課及び市民活動センターとの連携及び情報共有 ・地域協働体への助言・育成	大原まちづくりの会	年間	・総会 (5/28) ・チーム会議 (市民活動センター、地域振興課) ・協働体主催の各種事業への協力 ・大原地区新年交賀会の共催実施 (1/5)
----------	--	-----------	----	---

● 生涯の各時期における社会教育の充実

○ 少年教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
学びの土曜塾 サマーキャンプ	学校教育だけではできない地域社会との関わりや実体験を通し、自学自習や生涯学習の基本的態度を身につけさせる。	大東地域内 小学校児童	夏休み 冬休み	・学びの機会の創出 ・キャンプ (県立野外活動センター 夏休み 29 人参加 (内 9 名が大原) 冬休み 27 人参加 (内 5 名が大原)

○ 青少年の健全育成

事業名	ねらい	対象	時期	内容
大原だるま祭り開催の支援	若者の手作りによる伝統行事を継承し、社会の一員としての意識向上と郷土愛を育成する。	青少年 (20歳及び小学6年生)	8月15日	・大原だるま祭り実行委員会の支援 ・だるま御輿の製作、祭りの実施 当番生 34 名、小学生 6 年生 24 名
大原水かけ祭り開催の支援	伝統行事の水かけ祭りを彩る「太鼓・山車・御輿」の練習を重ね、当日の祭りを盛り立てるとともに郷土愛の醸成を図る。	小学生 中学生 高校生	2月11日	獅山清流囃子山車 (大原小)、出陣太鼓山車 (大東中)、御神輿立志若衆 (大東中)、地域貢献活動 (大東高)

○ 成人教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
「室蓬カレッジ」 歴史専門講座	歴史専門講座を開設し、郷土の歴史文化の理解を深め、地域のよさを再発見する。	一般成人	6～10月 全5回	・座学による講演会及び移動研修 (受講生 28 名)
ウォーキング講座	ウォーキングで健康と体力の維持を図る。	一般成人	全6回	・講座の開催 (受講生延べ 74 名)
軽体操教室	軽体操で健康と体力の維持を図る。	一般成人	年1回	
ニュースポーツ講座	ニュースポーツで健康と体力の維持を図る。	一般成人	随時	
女性講座	女性達がいきいきと活動するきっかけを作る。	一般成人	随時	
健康講演会	日常生活を振り返り健康で安心な毎日を過ごす。	一般成人	随時	

その他	学習ニーズを把握したうえで協議検討し、適宜各種講座を開設する。	一般成人	5月10～ 12日 12月3日	・エビネ・山野草展の開催支援等 ・うたって健康づくり (受講生21名)
-----	---------------------------------	------	-----------------------	---

○ 高齢者教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
こはぎ学級	高齢者が毎日を楽しく生き生きと暮らすため、健康管理等、様々の学びと語らいや相互理解を深める。 ※昭和48年創設	会員	毎月	・高齢者学級(シニア女性学級)の活動支援 音楽療法(歌唱)、移動研修、軽スポーツ等

● 社会教育関係団体の育成

○ 自主的団体活動の育成支援、学習の場の提供、団体活動研修会の開催

事業名	ねらい	対象	時期	内容
各種団体の育成支援	自主活動への助言や自立を促進する。	各種団体	年間	・学習活動の場の提供 ・団体の自立支援 ・活動環境の整備
社会教育関係団体登録制度	市民センターの利用拡大と社会教育団体の学習活動を支援する。	各種団体	随時	・受付登録事務 ・団体登録の支援 既登録19団体

● 社会教育施設の整備

○ 施設の維持管理と整備

事業名	ねらい	対象	時期	内容
施設の維持管理と整備	老朽化している施設の維持修繕により施設の長期活用を図る。 ※大原市民センター及び関連施設(大東勤労者体育センター、大原体育館、春日グラウンド、春日テニスコート、内野体育館)	所管施設	年間	・市の施設整備計画等による改修及び修繕 会議室のLED化 ・安全で快適な施設維持 風呂タイル補修 玄関スロープ補修 ホール玄関手すり 門柱ガードパイプ 支障木の伐採 (勤体駐車場2本) 網戸の設置 (勤体ロビー3枚) 側溝蓋の交換 (勤体駐車場) 審判台の修繕 (テニス用2台)



(3) 家庭教育の振興 [SDGs目標：4, 11]

● 子育て意識を高める学習機会の提供充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
家庭教育学級 (保育園対象)	家庭教育の重要性を理解し、子どもの成長段階に応じた親の望ましいあり方を学ぶ。	保育園、園児とその保護者等	11月9日	・「親子ふれあい遊び」 (大原保育園 園児 34名、保護者 37名)
家庭教育学級 (小学校対象)	保護者や教員が地域活動などの実践者の講話を聴き、家庭・学校の役割を認識し、児童生徒の健全な育成に向ける。	小学校児童 保護者、教員 地域住民等	2月21日	・「SNSの利用及びリスク管理」(大原小学校児童 86名、保護者 65名、教師 13名)



(4) 芸術文化の振興 [SDGs目標：4, 11]

● 芸術文化事業の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
大原地区文化祭	創作活動の成果の発表と社会教育・生涯学習活動等の普及推進を図る。	地区	11月2～3日	・地区住民の創作作品の展示等 ・地区住民の交流の場 出品者 343名、 作品 858点 来場者約 900人
芸術文化ロビー展	地元を中心に活動を行っている団体・個人の作品を、大原市民センターロビー等などにおいて開催、広く住民に観賞していただく。	利用者	随時	・写真、絵画、手芸、書道、絵手紙等の展示 ・ひな人形、各種事業紹介パネルの展示
大東芸術文化協会大原支部「芸能発表会」	地域の伝統芸能や舞踊等を中心に、日頃の活動を発表する。	一般成人	6月23日	・芸能チャリティー発表会(市後援事業)
その他(市民センターピアノの設置)	より多くの皆さんに親しまれる施設とするため、ロビーで自由に弾けるアップライトピアノを設置した。(開館時間内、無料、申込不要)	利用者	年間	・東側ロビーに、自由に弾けるアップライトピアノを設置した。 ・1/14 及川音楽教室の協力を得て、ピアノお披露目会を開催した。(参加者 50名)



(5) スポーツ・レクリエーションの推進〔SDGs目標：3，11〕

- 生涯スポーツ推進体制の確立
- スポーツ活動推進体制の整備充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
大原体育協会活動の支援	大原体育協会の各種行事、活動を支援する。	大原体育協会	年間	・総会及び役員会 ・各種スポーツ行事の共催等
各種スポーツ団体、サークルの活動の支援	ゲートボール、グラウンドゴルフ、ヨガ、ビリヤード、卓球、バドミントン、テニス、スポーツウエルネス吹矢、小学校スポーツ少年団、中学校スポーツクラブ、その他	一般成人 青少年	年間	・団体育成及び活動支援等
一関市長杯シルバービリヤード大会	ビリヤードを通し、生涯スポーツ振興のため広域的な親睦を図りながら地域活性化及び健康体力づくりを推進する。	一般成人	年間	・一関市長杯の開催は見送り。 ・大東ビリヤード同好会として、地区外の方を含め広く活動を行った。

参考資料

持続可能な開発目標 (SDGs)



大原市民センター所管施設の年度別利用実績

施設名	項目	年度区分					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大原市民センター	人数	14,675	6,242	8,882	8,323	10,260	11,148
	件数	604	404	425	442	477	706
	日数	277	201	220	234	240	251
大東老人福祉センター	人数	4,585	2,286	2,606	3,588	3,994	
	件数	351	255	299	326	326	
	日数	206	180	205	222	217	
大原体育館	人数	4,818	5,147	4,272	4,352	4,671	5,093
	件数	310	399	351	339	319	295
	日数	197	237	229	217	205	212
内野体育館	人数	82	93	44	23	62	578
	件数	20	11	6	5	5	21
	日数	19	10	6	5	5	21
大東勤労者体育センター	人数	13,267	9,253	10,335	6,157	7,215	7,150
	件数	809	805	881	634	675	579
	日数	346	325	353	275	297	275
春日グラウンド	人数	2,236	1,378	1,433	1,448	2,452	1,864
	件数	81	92	75	83	94	87
	日数	77	80	70	74	89	79
春日公園 テニスコート	人数	179	187	176	99	425	159
	件数	43	41	36	20	57	33
	日数	37	27	25	20	49	33
合計	人数	26,575	15,333	17,413	17,833	21,864	18,842
	件数	1,409	1,202	1,192	1,215	1,278	1,142
	日数	813	735	755	772	805	596

※令和6年度の集計は、2月末での実績となります。

(参考 上記施設の分類別集計)

施設名	項目	年度区分					
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
市民センター (市民、老福)	人数	19,260	8,528	11,488	11,911	14,254	11,148
	件数	955	659	724	768	803	706
	日数	483	381	425	456	457	251
附属施設 (大原、内野)	人数	4,900	5,240	4,316	4,375	4,733	5,671
	件数	330	410	357	344	324	316
	日数	216	247	235	222	210	233
スポーツ施設 (春日、勤体)	人数	15,682	10,818	11,944	7,704	10,092	9,173
	件数	933	938	992	737	826	699
	日数	460	432	448	369	435	387
体育・附属施設 (市民C以外)	人数	20,582	16,058	16,260	12,079	14,825	14,844
	件数	1,263	1,348	1,349	1,081	1,150	1,015
	日数	676	679	683	591	645	620

今年度に実施した施設維持管理の事例

○手すりの設置



○ガードパイプの設置



今年度に実施した施設維持管理の事例

○照明のLED化



○ロビーピアノの設置



今年度に実施した施設維持管理の事例

○支障木の伐採（大東勤労者体育センター）



●網戸の設置（大東勤労者体育センター）



今年度に実施した施設維持管理の事例

●側溝蓋の修繕（春日グランドテニスコート）



○審判台の修繕（春日グランドテニスコート）



令和7年度大原市民センター運営方針及び事業計画

教育行政の目標

「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」

社会教育行政の目標

「ともに学び、まちとひとをつくる社会教育を推進」

市民センターの目標

「心豊かな人生と文化の香りする住みよい地域づくり」

1. 基本方針

一関市教育振興基本計画後期事業計画（令和3年度～令和7年度）及び令和6年度一関市教育委員会教育行政方針を踏まえ、大原市民センターが一人ひとりの多様で個性のある自己実現を支援するため、生涯の各時期において主体的に学習できるよう、より質の高い学習機会を創出するとともに、地域課題の解決と地域の教育力向上を目指し、学校、家庭、地域が連携した学びと地域づくりの推進により、地域の活力を創造していく。

2. 社会教育現代的課題共通テーマ

男女共同参画「誰もが 個性を尊重し 能力を認め合う 多様性への理解の促進」※～令和7年度

3. 事業計画



(1) 生涯学習の推進 【SDGs目標：4, 17】

●推進体制の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
市民センター運営協議会	市民センターの運営、事業に適切、効果的に反映させる。	市民センター運営協議会委員	年2回程度	・市民センターにおける各種事業の企画・実施について協議
学級及び講座開催調整会議	歴史専門講座、市民センター各種事業等の内容検討と調整を図る。	学識経験者	随時	・情報交換と事業調整
大原自治公民館等連合会研修会	自治会等の運営や活動の情報交換と地域づくりを研修する。	自治会長	11月	・研修会等の開催
大原地区新年交賀会	年頭に集い、抱負や地域振興について情報交換と交流親睦を通じて一体感の醸成を図る。	大原地区	1月初旬	・交賀会の開催支援

● 学習の普及奨励

○ 学習情報の提供

事業名	ねらい	対象	時期	内容
市民センターだより 砂鉄川の発行	市民センター事業の周知と情報提供等により地域の活性化を図る。	全戸	毎月	・講座、行事等の情報提供及び成果の報告や各種団体の情報提供等
学級講座・事業の周知等	各種行事等を周知することで日程調整等を円滑にし、生涯学習活動の普及奨励を行う。	全戸	随時	・年間の生涯学習情報を市民センターだよりの活用等

(2) 社会教育の推進 [SDGs目標：4, 11]

● 推進体制の充実

○ 組織の連携強化



事業名	ねらい	対象	時期	内容
市民センター所長会議	各市民センター所長による連絡会議を開催し、市民センターの運営及び事業計画について協議、検討する。	市民センター関係職員等	随時	・事業運営全般についての意見交換
市民センター担当職員会議	大東地域内の市民センター職員による連絡調整会議を開催する。市民センター事業等について協議検討する。	各市民センター関係職員等	随時	支所地域振興課の担当、市民センターの担当職員によるセンター事業等の連絡調整

● 社会教育の充実

○ 地域の特性を生かした社会教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
教育振興運動	関係機関団体と連携し、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	地区	随時	・世代間交流事業共催 ・家庭教育学級等
室蓬カレッジ	大東地域内の各市民センターが共通認識を持ち、その地域の特性を活かした事業を展開する。	一般成人	6～10月 年5回	・歴史専門講座（大原） ・郷土史講座（猿沢） ・現代文学講座（渋民）
協働のまちづくり	大原地区の特色を生かしたまちづくりの推進を図る。	地区	年間	・地域協働体が主体となり多くの地区住民が参加するまちづくりへの支援 ・関係課及び市民活動センターとの連携 ・地域協働体の運営等に係る助言及び育成支援

● 生涯の各時期における社会教育の充実

○ 少年教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
学びの土曜塾	学校教育だけではできない地域社会との関わりや実体験を通し、自学自習や生涯学習の基本的態度を身につけさせる。	大東地域内 小学校児童	夏休み 冬休み	・学びの機会の創出 ・キャンプ（県立野外活動センター） ・体験教室

○ 青少年の健全育成

事業名	ねらい	対象	時期	内容
大原だるま祭り開催の支援	若者の手作りによる伝統行事を継承し、社会の一員としての意識向上と郷土愛を育成する。	青少年	8月15日	・大原だるま祭り実行委員会の支援 ・だるま御輿の製作、祭りの実施
大原水かけ祭り開催の支援	伝統行事の水かけ祭りを彩る「太鼓・山車・御輿」の練習を重ね、当日の祭りを盛り立てるとともに郷土愛の醸成を図る。	小・中学生	2月11日	獅山清流囃子山車（大原小）、出陣太鼓山車（大東中）、御神輿立志若衆（大東中）

○ 成人教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
「室蓬カレッジ」歴史専門講座	歴史専門講座を開設し、郷土の歴史文化の理解を深め、地域のよさを再発見する。	一般成人	6～10月 全5回	・講演会及び移動研修
ウォーキング講座	ウォーキングで健康と体力の維持を図る。	一般成人	全6回	・講座の開催
軽体操教室	軽体操で健康と体力の維持を図る。	一般成人	年1回	・ポールウォーキング教室
ニュースポーツ講座	ニュースポーツで健康と体力の維持を図る。	一般成人	随時	
女性講座	女性達がいきいきと活動するきっかけを作る。	一般成人	随時	
健康講演会	日常生活を振り返り健康で安心な毎日を過ごす。	一般成人	随時	
その他	男女共同参画事業に着目した学習ニーズを把握し、適宜各種講座を開設する。	一般成人	5月	・エビネ・山野草展の開催支援等

○ 高齢者教育の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
こはぎ学級	高齢者が毎日を楽しく生き生きと暮らすため、健康管理等、様々の学びと語らいや相互理解を深める。 ※昭和48年創設	会員	毎月	・高齢者学級（シニア女性学級）の活動支援 音楽療法（歌唱）、移動研修、軽スポーツ等

● 社会教育関係団体の育成

○ 自主的団体活動の育成支援、学習の場の提供、団体活動研修会の開催

事業名	ねらい	対象	時期	内容
各種団体の育成支援	自主活動への助言や自立を促進する。	各種団体	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の場の提供 ・団体の自立支援 ・活動環境の整備
社会教育関係団体登録制度	市民センターの利用拡大と社会教育団体の学習活動を支援する。	各種団体	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・受付登録事務 ・団体登録の支援

● 社会教育施設の整備

○ 施設の維持管理と整備

事業名	ねらい	対象	時期	内容
施設の維持管理と整備	<p>老朽化している施設の維持修繕により施設の長期活用を図る。</p> <p>※大原市民センター及び関連施設（大東勤労者体育センター、大原体育館、春日グラウンド、春日テニスコート、内野体育館）</p>	施設全般	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施設整備計画等による改修及び修繕 ・安全で快適な施設維持



(3) 家庭教育の振興 【SDGs目標：4, 11】

● 子育て意識を高める学習機会の提供充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
家庭教育学級（保育園対象）	家庭教育の重要性を理解し、子どもの成長段階に応じた親の望ましいあり方を学ぶ。	保育園、園児とその保護者等	未定	・講演会等の開催（保育園及び同保護者会との連携事業）
家庭教育学級（小学校対象）	保護者や教員が地域活動などの実践者の講話を聴き、家庭・学校の役割を認識し、児童生徒の健全な育成に向ける。	小学校児童保護者、教員、地域住民等	未定	・講演会等の開催（小学校及びPTAとの連携事業）



(4) 芸術文化の振興 【SDGs目標：4, 11】

● 芸術文化事業の充実

事業名	ねらい	対象	時期	内容
大原地区文化祭	創作活動の成果の発表と社会教育・生涯学習活動等の普及推進を図る。	地区	11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の創作作品の展示等 ・地区住民の交流の場

芸術文化ロビー展示	地元を中心に活動を行っている団体・個人の作品を、大原市民センターロビー等において開催、広く住民に観賞していただく。	利用者	随 時	・写真、絵画、手芸、書道、絵手紙等の展示
大東芸術文化協会大原支部「芸能発表会」	地域の伝統芸能や舞踊等を中心に、日頃の活動を発表する。	一般成人	未 定	・芸能チャリティー発表会（市後援事業）

(5) スポーツ・レクリエーションの推進〔SDGs目標：3，11〕

- 生涯スポーツ推進体制の確立
- スポーツ活動推進体制の整備充実



事業名	ね ら い	対 象	時 期	内 容
大原体育協会活動の支援	大原体育協会の各種行事、活動を支援する。	大原体育協会	年 間	・総会及び役員会 ・各種スポーツ行事の開催等
各種スポーツ団体、サークルの活動の支援	ゲートボール、グラウンドゴルフ、ヨガ、ビリヤード、卓球、バドミントン、テニス、極拳、スポーツウエルネス吹矢、小学校スポーツ少年団、中学校スポーツクラブ、その他	一般成人 青少年	年 間	・団体育成及び活動支援等
一関市長杯シルバービリヤード大会	ビリヤードを通し、生涯スポーツ振興のため広域的な親睦を図りながら地域活性化及び健康体力づくりを推進する。	一般成人	未 定	・大東ビリヤード同好会主催（市共催事業）

参考資料

持続可能な開発目標（SDGs）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



1 施設保有の見直し方針について

※施設保有の見直し方針とは

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針

(1) 策定の背景

一関市が所有する公共施設の中には、建築してから30年を超える施設も多くなってきていることに加え、合併による施設の重複や偏在など、課題を抱えているものも少なくありません。経年劣化による修繕費の増加に加え、10年後、20年後には老朽化した施設の大規模改修や建替えが必要となるばかりでなく、これらが同時期に集中することが懸念され、厳しい財政状況が予測される中、既存の施設を現状のまま維持していくことは困難な状況となっています。

(2) 策定の目的

市では、公共施設白書から見えた公共施設の現状と課題を踏まえて、今後の適正管理に向けた基本的な考え方や取組の方向性について計画期間を30年間とする「一関市公共施設等総合管理計画」をまとめました。

さらに、そのうちの建物系施設について令和8年度までの取組の方向性や検討の進め方、推進体制等についてまとめた「一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画」を策定しました。

この計画に掲げた取組を具現化するため、先導的な取組として、施設の種類や経過年数及び延床面積など一定の条件に該当する施設を抽出し、抽出した施設について、施設保有の見直しに向けた検討を行うための方針をまとめたものです。

(3) 対象期間

令和3年度（2021年度）から令和8年度（2026年度）までの6年間

(4) 対象施設

以下のいずれかに該当する施設 142施設

a 老朽化した施設（築41年以上経過した施設）

b 小規模な施設（延床面積が300㎡未満の施設）

c 公共性が低下していると考えられる施設（産業系施設、レクリエーション・観光保養施設、コミュニティセンター、地区会館等）

※大原、摺沢、興田、猿沢体育館が該当

2 対象施設の見直し方針（市の方針）

➤ 市民センター体育館

建築後41年以上を経過した施設として5施設が対象となります。小中学校の統廃合に伴い、学校施設から市民センター施設へ転用した施設などで、床を撤去し、土間の体育館として利用されている施設も含まれます。

施設を維持するには、躯体の長寿命化のほか、照明改修（2021年以降の水銀灯の製造禁止への対応）も必要となり、多額の事業費が必要となると見込まれることから、使用期限を定めて廃止を検討します。

No.	施設情報		施設保有の見直し方針		参考 第2期中期計画 (R9~)以降 の方向性
	施設名称		延床面積	第1期中期計画(H30~R8) 取組方針	
	対象施設の要件	代表建築年度 〔R2年度末 経過年数〕	年間利用者数 〔H27-29平均〕	取組の考え方	
	施設所在地		市負担額 〔H27-29平均 支出-収入〕		
9	日形体育館		405.00 m ²	廃止	施設の老朽化が進んでいるため、使用期限を定め廃止を検討します。
	a	1972 (建築後48年)	1,267人		
	花泉町日形町裏		2,216千円		
10	大原体育館		1,041.71 m ²	廃止	施設の老朽化が進んでいるため、使用期限を定め廃止を検討します。
	a	1955 (建築後65年)	5,941人		
	大東町大原字川内		2,806千円		
11	摺沢体育館		623.13 m ²	廃止	施設の老朽化が進んでいるため、使用期限を定め廃止を検討します。
	a	1963 (建築後57年)	4,954人		
	大東町摺沢字新右工門土手		1,232千円		
12	興田体育館		541.82 m ²	廃止	施設の老朽化が進んでいるため、使用期限を定め廃止を検討します。
	a	1967 (建築後53年)	3,668人		
	大東町鳥海字川又		1,428千円		
13	猿沢体育館		1,002.54 m ²	廃止	施設の老朽化が進んでいるため、使用期限を定め廃止を検討します。
	a	1969 (建築後51年)	5,594人		
	大東町猿沢字上ノ洞		4,114千円		

3 基本的な進め方

施設所管課において、利用者や地域の方等との話し合いをし、譲渡や廃止の時期及び課題等について話し合い、そこで抽出された課題等に対する対応案を市全体で検討していくこととしています。

【耐震基準の適用】

- ・ 1981年5月までの建物→旧基準（震度6以上には不足）
- ・ " →1000㎡以下の体育館の診断は国基準では任意
- ・ 1981年6月からの建物→新基準（震度6強～7程度でも倒損壊なし）

4 市民センター管理の体育館の状況

市方針	名称	構造	床面積	建築年度	R2 未経過 年数	耐震 診断	R5年度 利用実績		備考
							件	人	
廃止	大原体育館	鉄筋コン クリート	1,041.7	1955	65	実施 済	319	4,671	○土間体育館 2016年耐震補 強済
	内野体育館	鉄骨	572.8	1995	25	不要	5	62	
	大東勤労者 体育センタ ー	鉄筋コン クリート	1,190.8	1989	31	不要	675	7,215	
廃止	摺沢体育館	鉄骨	623.1	1963	57	未実 施	190	2,271	○土間体育館 指定管理施設 (R6～R7)
	天狗田体育 館	鉄骨	684.3	1989	31	不要	17	239	指定管理施設 (R3～R7)
	中川体育館	鉄骨	650.3	1987	33	不要	6	59	指定管理施設 (R3～R7)
	京津畑体育 館	鉄骨	518.5	1982	38	不要	4	25	指定管理施設 (R3～R7)

市方針	名称	構造	床面積	建築年度	R2 未経過年数	耐震診断	R5利用実績		備考
							件	人	
	丑石体育館	鉄骨	663.0	1996	24	不要	82	480	指定管理施設 (R3～R7)
廃止	興田体育館	鉄骨	541.8	1967	53	未実施	152	2,271	○土間体育館 指定管理施設 (R6～R7)
	大東バレーボール記念館	鉄骨	1,498.1	1994	26	不要	622	8,961	指定管理施設 (R3～R7)
廃止	猿沢体育館	鉄骨	968.7	1969	51	実施済	270	2,395	2001年耐震補強済 指定管理施設 (R6～R7)
	渋民市民センター体育館	鉄骨	814.0	1994	26	不要	422	6,499	指定管理施設 (R6～R10)
	曾慶体育館	鉄骨	685.6	1986	34	不要	174	2,002	指定管理施設 (R4～8)

5 市民センター体育館の施設保有の見直し方針に係るこれまでの取組

(1) 令和4年9月に利用者との懇談会を開催。

- ▶ 各施設の利用者を対象とし、施設毎に開催。
- ▶ 公共施設の現状と課題及び施設保有の見直し方針について市（施設所管課）から説明し、現在の利用状況や代替施設の可能性について意見交換した。

※ 利用者から出された意見や課題は以下のとおり、市（支所）で対応策を検討し、まとめた。

施設名	意見・課題 (内容を①～③で分類)	対応策
大原体育館	①耐震補強工事を行っている。使用できるうちは使用したい。 ②廃止する場合は閉校した旧大原中体育館の床を撤去し、土間 対区間 としたい。 体育館	①延命のための修繕は行わないこととし、現状で使用可能なうちは使用する。 ②類似施設（大原、摺沢、興田体育館）の整理統合を検討する。 ③機能を集約する場合、移動手段も検討する。
摺沢体育館	①ソフトボールの練習ができる貴重な施設なので残してほしい。 ②将来的に廃止はやむを得ないが、大東地域に1～2ヶ所の屋内施設の新設を希望する。	
興田体育館	②施設を集約するのであれば土間体育館を希望する。 ③集約施設を他地区に設置する場合は、移動手段を検討しなければならない。	
猿沢体育館	①耐震補強工事を行っている。使用できるうちは使用したい。 ③集約施設を他地区に設置した場合は、高齢者は利用しなくなる。	

(2) 令和5年12月6日に大東地域の各協働体（大原まちづくりの会、摺沢振興会、興田地区振興会、猿沢地区振興会、渋民振興会、結いネットそげい）との懇談会を開催。

- ▶ 公共施設の現状と課題及び施設保有の見直し方針について市（支所）から説明し、意見交換した。
- ▶ 市の方針として、令和5年7月に示された以下事項を説明。
 - 施設保有の見直し方針において「廃止」とした施設の代替施設は新たに整備しない。

。 施設が使用可能な間は使用可するか否かについては、終期を決めて使用継続とし、延命のための修繕は行わず、使用に耐えられなくなった場合は廃止とする。」

。 第1期中期計画期間（施設保有の見直し方針）終期が令和8年度であることから、方針を「廃止」とした施設は令和8年度までに廃止する（指定管理施設も同じ）ことを検討する。

※ 振興会から出された意見や課題は以下のとおり、市（支所）で対応策を検討し、まとめた。

意見・課題	対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少及び高齢化により、数年後には利用の仕方も変わる。 ・ 現在は利用率が高いことから、安全に使用できる間は現状のまま使用したい。ただし、地域での管理は難しい。 ・ 高齢者の健康づくりや生きがいづくりにも利用されている施設であり、医療費や介護保険料の抑制にも繋がっている。 ・ 大東地域で1箇所か2箇所に集約を検討する。 ・ 利用率の低い体育館の床を撤去し、代替の土間体育館とする。 ・ 現に利用されている施設について、実行性がある代替案がない中で令和8年度の廃止検討は難しい。今後の状況を注視していくしかない。数年経てば状況が変わることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設保有の見直し方針に基づき、利用状況を見ながら、引き続き利用者や地域と意見交換を行う。 ・ 地区を越えて大東地域全体に関わる問題として継続検討する。

6 市民センター体育館の施設保有の見直し方針に係るこれからの取組

- (1) 今まで示された市の方針を原則とし、令和6年10月に以下の方針が示された。
 - ▶ 見直し方針において「廃止」とした施設の廃止時期を市（施設所管課）で原則令和7年度までに検討する。
 - ▶ 第2期中期計画（令和9年度から18年度）の策定にあたり、施設ごとの状況を整理する。

- (2) 施設利用者との懇談会の実施。
 - ▶ 上記により施設の廃止時期の検討、施設ごとの利用状況に係る意見・課題・利用状況をお聞きするものです。